

魅力ある地域づくりに関する特別委員会 議事次第

令和 7 年 5 月 22 日 (木)
午 後 1 時 3 0 分 ～
於 : 第 7 委 員 会 室

1 開 会

2 中間報告

3 委員会活動のまとめ

4 その他

5 閉 会

魅力ある地域づくりに関する特別委員会 出席要求理事者名簿

【総務部】		【健康福祉部】	
※ 総務部理事 (自治振興課長事務取扱)	山 本 茂 樹	※ 地域福祉推進課長	宮 村 匡 彦
【総合政策環境部】		【商工労働観光部】	
※ 総合政策環境部副部長 (子育て社会推進監付理事兼務)	白波瀬 衛	中小企業総合支援課長	田 村 弘 之
※ 地域政策室長	吉 田 宏 則	観光室長	西 田 剛
地域政策室企画参事 (北部担当)	古 田 良 明		
※ 地域政策室企画参事 (中部担当)	仲 村 貴 人	【農林水産部】	
※ 地域政策室企画参事 (南部担当)	池 松 達 人	※ 農林水産部理事 (経営支援・担い手育成課長事務取扱)	小 塩 佳 市
大学政策課長	河 野 勉	農村振興課参事	野 田 敦 司
【文化生活部】		【建設交通部】	
※ 文化生活部副部長 (スポーツ・文教担当)	裕 伸 二	※ 交通政策課長	坂 晃 昭
スポーツ振興課長	曾 我 学		
		【公安委員会】	
		交通規制課長	橋 本 昌 史

(計 16 名)

* 議事内容に応じ、必要な理事者を適宜追加

※ 新任理事者

令和7年5月 日

京都府議会議長 石 田 宗 久 殿

魅力ある地域づくりに関する特別委員長 瀧 脇 正 明

魅力ある地域づくりに関する特別委員会中間報告書

京都府議会議事規則第46条第2項の規定により、令和6年5月府議会臨時会閉会後から現在に至るまで、本委員会が調査及び研究してきた状況について、別紙のとおり中間報告いたします。

(別紙)

魅力ある地域づくりに関する特別委員会中間報告書

1 本委員会の設置目的

大学の知と学生の力を取り入れた地域活性化、観光やスポーツを通じた様々な交流機会の拡大など、地域のポテンシャルの向上を目指した魅力ある地域づくりに関する施策について調査し、及び研究する。

2 本委員会の活動状況

(1) 委員会の開催について

- 令和6年6月7日、第7委員会室において、関係理事者から所管事項に係る事務事業概要について説明を聴取した。また、今期の委員会運営方針について協議を行った。
- 令和6年6月26日、第7委員会室において、「地域の絆と交流を通じた活力ある地域づくりについて」をテーマに委員会を開催し、関係理事者から本府における取組状況の説明を聴取し、これに対する質疑を行った。また、今後の調査・研究テーマに係る委員間討議を行った。
- 令和6年10月1日、第7委員会室において、一般社団法人京丹波町観光協会（地域商社京丹波）事務局長 山下 稔 氏、京丹波町産業建設部商工観光課長兼プロモーション戦略室長 片山 健 氏を参考人として招致し、「地域商社による地域の魅力の強化・再発見について」をテーマに委員会を開催した。関係理事者から本府における取組状況の説明を聴取した後、当該参考人から、地域商社による地域の魅力の強化・再発見の取組について説明及び意見を聴取し、これに対する質疑を行った。
- 令和6年12月17日、第7委員会室において、京丹後市市長公室 政策調整監 川口 誠彦 氏、京丹後市市長公室政策企画課 主任 篠原 佳奈 氏、京丹後市地域おこし協力隊 松村 章 氏を参考人として招致し、「若者を対象とした地域への愛着を育む取組について」をテーマに委員会を開催した。関係理事者から本府における取組状況の説明を聴取した後、当該参考人から、児童生徒など若い世代を対象とした地域への愛着を育む取組について説明及び意見を聴取し、これに対する質疑を行った。
- 令和7年3月17日、第7委員会室において、中京大学スポーツ科学部スポーツマネジメント学科 教授 伊藤 央二 氏を参考人として招致し、「スポーツによる地域活性化の取組について」をテーマに委員会を開催した。関係理事者から

本府における取組状況の説明を聴取した後、当該参考人から、スポーツツーリズムをはじめとした、スポーツによる地域活性化の取組について説明及び意見を聴取し、これに対する質疑を行った。

○ 令和7年5月〇日、第7委員会室において、-----

(2) 管外調査の実施について

以下の取組について調査を行った。

○調査日：令和7年1月29日

調査先：中津川市議会〔於：付知地域デザインミュージアム〕
(岐阜県中津川市)

調査事項：中津川市の持続的に発展するまちづくりを目指した取組について

中津川市では、人口減少と高齢化が進展する中山間地域の持続的発展、各地域拠点の魅力向上、交通インフラの整備効果の拡大といった地域課題に対し、リニア中央新幹線岐阜県駅（仮称）や中央自動車道（仮称）神坂スマートインターチェンジなど、新たな交通網と中心市街地や地域の拠点を結び、地域交通の維持向上に向けた取組や持続的に発展するまちづくりを進めている。

「超高速交通網との接続にむけた自動運転ネットワークの導入と地域拠点整備による新たな人の流れ創出事業」は、令和2年に連携協定を結んだ東京大学と共に取り組んでいる事業である。令和3年度に内閣府の「未来技術社会実装事業」に採択され、市北部の付知町地区をモデルとして、自動運転技術と新たな拠点の創出により、リニア等広域交通の整備効果の市内全域への波及と多拠点ネットワークによる集約型都市構造の実現を目指して事業を実施している。

自動運転技術の導入・運営に当たっては、人だけでなく農産物の出荷や生活品の配達など貨物輸送もあわせた効率的な運行や既存公共交通との連携、代替としての活用が検討されている。潜在的な需要を把握するための人・物の輸送に係る社会実験を実施しているほか、同地区内の狭小な道路や自動車と歩行者が混在する道路環境での自動運転車両実証走行データの収集、課題の洗い出しなど中山間地域での自動運転技術導入の検討、地域の歴史や資源等の地域情報も表示される自動運転予約アプリの開発などを進めている。

また、地域拠点として令和4年10月に開設された付知地域デザインミュージアムは、明治8年創業の割烹料理上見屋の建物をリノベーションしたものであり、令和6年秋には、2階部分が、宿泊施設、ワーキングスペースとして整備された。自動運転車両の停留所ともなっており、地域拠点を核とした様々な移動手段の活

用について社会実験が実施されている。今後さらに、にぎわい創出や地域拠点の活用などを進めていくとのことであった。

○調 査 日：令和7年1月29日

調 査 先：中津川市議会〔於：中津川市ひと・まちテラス〕（岐阜県中津川市）

調査事項：中津川市の持続的に発展するまちづくりを目指した取組について

中津川市では、3次にわたって「中心市街地活性化基本計画」を策定し、行政、商工会議所、商店街、地域などが一体となって、商店街の活力低下による中心市街地の衰退に対する取組を進めてきた。

第3次計画に基づき整備された「ひと・まちテラス」は、①子育て世代が集まるまちなか（中心市街地）の拠点、②市民や団体の様々な活動と交流の場、③コンパクトかつ開放的な学びの場としての図書館、④中津川市の文化を市内外の方に発信する場、の4つの機能を持つ複合施設として、令和5年7月15日にオープンした。同施設は、にぎわいの中心となる若者、子育て世代や女性が施設に集まることがまちの雰囲気を変えるという考えのもと、計画段階から市民の意見を聞くなど、開放された交流の場を目指している。また、立地を生かし、高校生が学校と家庭の間で集えるサードプレイスやイベントなどで人を呼び込むスペースなど、様々なニーズに対応できる汎用性のある空間を提供しており、まちの活性化に寄与している。令和6年12月までの入館者の累計は68万人を超え、その中でも市民団体の貸室利用が増えている。また、施設利用者数だけでなく、「まちなか」の歩行者通行量も増加しており、「まちなか」への人の流れが生まれている。

市は持続的な発展に向けて、令和5年5月に「中心市街地まちづくりビジョン・アクションプラン」を取りまとめ、「ここにしかないまち」をつくる取組を進めている。その中で、ひと・まちテラスでは「こどものワクワクのために『つかう』」「学生の学びのために『つかう』」の2つのシーンを目指す施設として位置付けられている。

今後は、引き続き、親子に遊びと体験の機会を作ることを目的とした小規模イベントを数多く実施し、一つ一つのイベントがつながることにより「いつも何かやっている」、人とまちを照らす場所を目指していきたいとのことであった。

○調 査 日：令和7年1月30日

調 査 先：岐阜市議会〔於：みんなの森 ぎふメディアコスモス〕

（岐阜県岐阜市）

調査事項：「シビックプライド」を醸成するための取組について

平成27年7月に開館した「みんなの森 ぎふメディアコスモス」は、岐阜大学医学部附属病院跡地に整備された複合文化施設である。市立中央図書館（知の拠点）、市民活動交流センター・多文化交流プラザ（絆の拠点）、ホール・展示ギャラリー・オープンテラス（文化の拠点）の3つの拠点からなり、滞在型図書館と市民の協働・市民活動サポートの機能を有している。

同施設では、シビックプライドを「これからも岐阜の地で楽しく豊かに暮らし続けていくために関わる人々の誇り・心情・心意気」と捉え、それを感じてもらうための取組を進めている。「岐阜にいたのに『知らなかった』岐阜を知る。」をコンセプトとする講座「おとなの夜学」は、開館から50回以上開催されている。図書館の開館時間中にマイクを使用するため、予約した参加者だけでなく、居合わせた来館者も聴くことができ、好評回はブックレットとして収蔵・販売されている。また、岐阜の地で楽しく豊かに暮らすための本棚「シビックプライドライブラリー」は、通常の10進分類法ではなく、テーマに沿った独自の分類で構成され、岐阜での楽しく豊かな暮らしを提案・発信している。さらに、施設の1階には「シビックプライドプレイス」（愛称「ぎふ古今」）を令和4年に開設した。「過去」の写真や地図を展示する「ぎふ歴史ギャラリー」、「現在」のおすすめスポットを紹介する「まち歩きステーション」、岐阜で活躍している人をカード形式で紹介する「岐阜な人カード」など、過去・現在・未来にわたる岐阜の魅力を伝え、人それぞれにシビックプライドを感じてもらうきっかけを提供している。また、これらのコンテンツを拡充しているのは取材や編集のスキルを学ぶ「メディコス編集講座」の修了者で、4期83名が講座を修了し、岐阜の魅力を伝える担い手となっている。

同施設では、中心市街地のにぎわい創出はもちろん、集まる人や情報をつなぐことが使命であると考えており、「屋根の付いた公園のような、多様で居心地のよい場所」「ひとが集い、憩い、豊かな対話がはじまるサードプレイス」として、引き続き「ひとりひとりが自由に過ごせる」「ここに来るとワクワクする」施設を目指していきたいとのことであった。

○調 査 日：令和7年1月30日

調 査 先：滋賀県庁〔於：平和堂HATOスタジアム〕（滋賀県彦根市）

調査事項：「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」を契機とした地域活性化の取組について

滋賀県では、令和7年9月28日～10月8日に第79回国民スポーツ大会（国スポ）が、10月25日～10月27日に第24回全国障害者スポーツ大会（障スポ）がそれぞれ44年ぶりに開催予定である。「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」を

大会愛称に、「滋賀ならではの」の大会に向け、4つの項目に力を入れている。

①「アスリートにエールを」では、障スポの選手だけでなく補助者にもメダルを授与する。②「環境に配慮した大会」では、MLG s（マザーレイクゴールズ）（琵琶湖版SDG s）宣言やスタッフウェアに再生素材を100%採用する。③「おもてなしと滋賀の魅力発信」では、スポーツを支えるボランティア等とともに取り組む。④「誰もが主役として輝ける取組み」では、バリアフリー対策やカームダウンスペースの設置などをそれぞれ予定している。

また、大会会場となる県立スポーツ施設等の整備・活用とともにスポーツボランティアの普及など、両大会の開催に向けた環境整備を進めている。令和5年にオープンした平和堂HATOスタジアムは、県内唯一の第1種陸上競技場で、開閉会式をはじめ、両大会の主会場となる予定である。

県では、県内でのスポーツイベント開催、障害者スポーツの展開やプロスポーツの盛り上げなどによる機運醸成のほか、レガシーの創出等による地域活性化の取組を進めている。前回のびわこ国体の際には、ホッケー競技が米原市で開催されたことを契機にプロチームが誕生した実績もあり、今回も国スポ・障スポの開催を契機とした各地域に根差したシンボルスポーツの充実・創出を支援していく。さらに、中学校部活動の地域連携に向けた環境整備、eスポーツやアーバンスポーツなどの新しいスポーツの認知度向上、子どもたちのスポーツ振興などにも取り組んでいく。

スポーツを地域資源の核に育て上げ、魅力の好循環を生み出したいと考えており、今後もスポーツ振興の取組を通じて「からだところの健康の実現」と「地域の活性化」を目指していくとのことであった。

3 本委員会の所管に係る主な動き

- 令和6年7月、京都府知事と京都市長による第2回府市トップミーティングにおいて、府市連携による周遊観光の取組のキャッチコピーを「まるっと京都」に決定した。
- 令和7年3月、京都府は、京都アリーナ（仮称）の整備に向け、事業契約を締結した。
- 令和7年3月、関西広域連合は、コロナ禍からの回復や、観光・文化を取り巻く環境の変化を踏まえ、令和9年3月までの第2期計画の終期を待たず、令和7年4月から令和12年3月までの5年間を計画期間とする「第3期関西観光・文化振興計画」を新たに策定した。

4 残された主な課題

本委員会の設置目的に掲げられた諸課題について、調査及び研究を進めた結果、なお引き続き調査及び研究を要する次のような課題が残されていると考える。

- 地域内外における交流やつながりについて
- 地域の魅力の強化・再発見と地域と調和した持続可能な観光地域づくりについて
- 住み続けたいと思う地域づくりについて
- ミュージアムを中心としたまちづくりについて

魅力ある地域づくりに関する特別委員会 活動状況 <付録>

(令和6年5月～令和7年5月)

年 月 日	区 分	主 な 内 容
6. 5. 24	委 員 会	1 委員長の選任 2 副委員長の選任 3 副委員長の順位
6. 7	正副委員長会	1 出席要求理事者 2 確認事項 3 本日の委員会運営
6. 7	委 員 会	1 出席要求理事者 2 確認事項 3 所管事項に係る事務事業概要 4 今期の委員会運営方針 5 今後の委員会運営
6. 14	正副委員長会	1 定例会中の委員会運営 2 今後の委員会運営
6. 26	委 員 会	1 所管事項の調査 「地域の絆と交流を通じた活力ある地域づくりについて」 2 委員間討議 「今後の調査・研究テーマについて」 3 閉会中の継続審査及び調査 4 今後の委員会運営
8. 27 ～28	管 外 調 査 (中 止)	▷ 美濃市議会 ▷ みのまちや株式会社・みのシェアリング株式 [於：まちごと シェアオフィス WASITA MINO] ▷ 岐阜市役所 [於：みんなの森 ぎふメディアコスモス] ▷ 春日井市議会 [於：高蔵寺まなびと交流センターグループふ じとう] ※台風10号の接近により中止
9. 7	管 内 調 査	▷ 2024 体育館フェスタ開始式 (行催事等委員会調査)
9. 19	正副委員長会	1 定例会中の委員会運営 2 今後の委員会運営
9. 28	管 内 調 査	▷ 京のスポーツ・スタジアム夢づくり事業2024「京都キッズ スポーツフェスタ」 (行催事等委員会調査)
10. 1	委 員 会	1 所管事項の調査 「地域商社による地域の魅力の強化・再発見について」 参考人：一般社団法人京丹波町観光協会(地域商社京丹波) 事務局長 山下 稔 氏 京丹波町産業建設部商工観光課長 兼プロモーション戦略室長 片山 健 氏 2 閉会中の継続審査及び調査 3 今後の委員会運営
10. 27	管 内 調 査	▷ 第47回京都府民総合体育大会オープニングフェスティバル オープニングセレモニー (総合開会式) (行催事等委員会調査)

年 月 日	区 分	主 な 内 容
12. 6	正副委員長会	1 定例会中の委員会運営 2 今後の委員会運営
12.17	委 員 会	1 所管事項の調査 「若者を対象とした地域への愛着を育む取組について」 参考人：京丹後市市長公室 政策調整監 川口 誠彦 氏 同室政策企画課 主任 篠原 佳奈 氏 京丹後市地域おこし協力隊 松村 章 氏 2 閉会中の継続審査及び調査 3 今後の委員会運営
7. 1.29 ～30	管 外 調 査	▷ 中津川市議会〔於：付知地域デザインミュージアム〕 ▷ 中津川市議会〔於：中津川市ひと・まちテラス〕 ▷ 岐阜市議会〔於：みんなの森 ぎふメディアコスモス〕 ▷ 滋賀県庁〔於：平和堂HATOスタジオ〕
3.13	正副委員長会	1 確認事項 2 定例会中の委員会運営 3 今後の委員会運営
3.15	管 内 調 査	▷ 令和6年度大学・学生とともにのぼす京都プロジェクト 成果報告会 (行催事等委員会調査)
3.17	委 員 会	1 確認事項 2 所管事項の調査 「スポーツによる地域活性化の取組について」 参考人：中京大学スポーツ科学部スポーツマネジメント学科 教授 伊藤 央二 氏 3 閉会中の継続審査及び調査 4 今後の委員会運営
5.22	正副委員長会	1 臨時会中の委員会運営
5.22	委 員 会	1 中間報告 2 委員会活動のまとめ ※発言内容は別紙のとおり

委 員 会 7回 管内調査 4回
 正副委員長会 6回 管外調査 1回（2日）

※台風10号の接近により8月の管外調査を中止し、1月に実施

魅力ある地域づくりに関する特別委員会 管内外調査実施状況

1 管内調査

年度	年 月 日	調 査 先 及 び 調 査 事 項
5	5. 9. 9	▷ 2023 体育館フェスタ
	9. 30	▷ 京のスポーツ・スタジアム夢づくり事業 2023「京都キッズスポーツフェスタ」
	10. 29	▷ 第46回京都府民総合体育大会オープニングフェスティバルオープニングセレモニー（総合開会式）
6	6. 9. 7	▷ 2024 体育館フェスタ
	9. 28	▷ 京のスポーツ・スタジアム夢づくり事業 2024「京都キッズスポーツフェスタ」
	10. 27	▷ 第47回京都府民総合体育大会オープニングフェスティバルオープニングセレモニー（総合開会式）
	7. 3. 15	▷ 令和6年度大学・学生とともにのぼす京都プロジェクト 成果報告会

2 管外調査

年度	年 月 日	調 査 先 及 び 調 査 事 項
5	5. 8. 22 ～23	宇都宮大学地域デザイン科学部附属地域デザインセンター（CRD） ・ 地域デザインセンターを中心とした地域連携の推進について ▷ 栃木県総合運動公園 ・ とちぎ国体のレガシー継承を通じた地域活性化について ・ 施設視察（日環アリーナ栃木、カンセキスタジアムとちぎ） ▷ 一般社団法人奥むさし飯能観光協会 ・ 森林の間伐対策問題とサステナブルツーリズムの推進について ・ 現地視察（喜多川キャンピングベース）
	6. 8. 27 ～28 (中止)	▷ 美濃市議会 ・ 歴史的資源の活用と古民家再生でつなぐ持続可能なまちづくりについて ▷ みのまちや株式会社・みのシェアリング株式[於：まちごとシェアオフィス] ・ 歴史的資源の活用と古民家再生でつなぐ持続可能なまちづくりについて ・ 施設視察

		・ 現地視察（NIPPONIA 美濃商家町） ▷ 岐阜市役所〔於：みんなの森 ぎふメディアコスモス〕 ・ 「シビックプライド」を醸成するための取組について ・ 施設視察 ▷ 春日井市議会〔於：高蔵寺まなびと交流センターグループふじとう〕 ・ 「高蔵寺リ・ニュータウン」の取組について ※台風 10 号の接近により中止
7. 1. 29 ～30		▷ 中津川市議会〔於：付知地域デザインミュージアム〕 ・ 中津川市の持続的に発展するまちづくりを目指した取組について ・ 施設視察 ▷ 中津川市議会〔於：中津川市ひと・まちテラス〕 ・ 中津川市の持続的に発展するまちづくりを目指した取組について ・ 施設視察 ▷ 岐阜市議会〔於：みんなの森 ぎふメディアコスモス〕 ・ 「シビックプライド」を醸成するための取組について ・ 施設視察 ▷ 滋賀県庁〔於：平和堂H A T Oスタジアム〕 ・ 「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」を契機とした地域活性の取組について ・ 施設視察